

## 12 倒産

倒産に関する相談は、1,908件で、対前年度で585件、44.2%の増加が見られる。

契約当事者の属性をみると、性別では「女性」が6割（62.1%）を占め、年代別では「30歳代」が26.5%、「20歳代」が21.4%、「40歳代」が16.9%を占めている。職業別では、「給与生活者」が41.8%、「家事従事者」が28.4%を占めている。17年度は、「学生」の相談件数が、前年度の4倍の175件となっている。

支払方法では、「現金払」が41.4%、「個品割賦」が22.7%を占めているが、前年度と比べ「現金払い」が7.2ポイント増加している。

平均契約金額は「290万5千円」で、前年度より146万8千円高くなっている。これは、為替相場や株など投資関連の事業者の倒産により、契約額が非常に高額な相談が増加したことが一因であると思われる。

主な商品・役務でみると「外国語・会話教室」、「為替相場」、「預貯金・証券等」、「学習塾」の倒産に関する相談が多く寄せられた。また、「エステティックサービス」の倒産に関する相談も依然として寄せられている。（表-62）

表-62 倒産相談内容別件数

単位：件

項目	17年度	16年度	項目	17年度	16年度			
相談件数	1,908	1,323	現金払	790	453			
性別	男	702	他の前払式	51	15			
	女	1,148	不明	279	214			
	団体	33	小計	1,120	682			
	不明	25	9					
年代別	19歳以下	55	4	支払方法別	自社割賦	2	5	
	20歳代	363	281		信用供与有	総合割賦	40	21
	30歳代	449	352		個品割賦	433	370	
	40歳代	286	215		その他	その他	115	28
	50歳代	189	139		不明	23	27	
	60歳代	176	97	小計	613	451		
	70歳以上	175	83	その他	借金契約	45	40	
	不明	215	152	不明・無関係	130	150		
			平均契約金額(千円)	2,905	1,437			
職業別	給与生活者	715	592	平均既払金額(千円)	2,237	1,192		
	自営・自由業	120	93	主な商品・役務	外国語・会話教室	504	58	
	家事従事者	486	378		為替相場	170	9	
	学生	175	39		預貯金・証券等	119	34	
	無職	215	115		学習塾	98	-	
	その他・不明	197	106		エステティックサービス	94	103	